

3 環境保全活動 「防災思想の普及と溪流環境の保全」

1 社会資本の概要

山梨県北杜市を流れる一級河川大武川・尾白川は一級河川富士川の支流です。昭和34年に起きた台風による土石流災害で郷土を失った地域の復活とその災害の歴史を現代の地域住民に知らしめ、溪流環境の保全管理や豊かな自然を守る地域づくりを目標に環境活動を行政と企業と住民とともに

年間を通じ行っています。また、道の駅「はくしゅう」は、名水を誇る白州ならではの特産品や旬の食材を活かした料理を提供しており、多くの地域住民や観光客が訪れています。



一級河川大武川



道の駅「はくしゅう」での
防災フェア



人工産卵河川の
メンテナンスの様子

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

防災思想の普及と溪流環境の環境保全のための活動を行っています。事業内容は①毎年恒例で6月の防災月間で地域の小学校と連携して、環境教育として砂防校外授業②はくしゅう道の駅の構内を利用して、6月に土砂災害の疑似体験ができる防災フェアと溪流環境と自然景観を楽しみながら地域の歴史と文化を学ぶ甲斐駒清流ウォーク③秋に源流域の人工産卵河川のメンテナンス④夏休みや秋の連休を利用してはくしゅう道の駅を利用して子供

たちが溪流の魚に親しむヤマメのつかみ取り⑤美しい川づくり委員会では河川整備と美化活動や災害の現地視察や環境を配慮した地域づくりを行っている先進地の見学などの研修会⑥地域の環境美化活動に参加等、地元企業や地域住民と北杜市、国土交通省砂防事務所との共同開催で活動しています。溪流に関する活動では特に山梨県水産センター、峡北漁協と連携して、小武川の源流域で人工産卵河川の維持管理をしています。



砂防校外授業にて土砂災害模型
で実験を行う児童



河川環境の整備(草刈り)の様子



甲斐駒清流ウォークの様子

甲斐駒清流懇話会 山梨県 北杜市

3 活動の成果や波及効果等

年間行事として行う事業として ①砂防校外授業は地域の白州・武川小学校児童3年生全員とその父兄毎年約80名参加しています。②防災フェア&甲斐駒清流ウォークは観光客も交えて約200名~300名参加しています。③溪流祭りは子供たちと観光客交えて150名から200名参加しています。④人工産卵河川のメンテナンスは漁業組合、砂防事務所、建設業界、山梨県水産技術センター、会員交えて約30名から40名参加しています。⑤研修会は会員と一般募集で約20~30名参加しています。これら活動に毎回、会員が40名程度引率や指導で参加しています。活動の感想文やアンケートなどを寄せられるが、感謝の言葉や事業の継続を望んでいます。



溪流祭り



甲斐駒清流ウォーク



砂防校外授業



砂防校外授業での
3D自然災害体験車

喜びの声



受賞者

甲斐駒清流懇話会
会長
北原 兵庫

コメント

この度は名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。私達の団体が台風災害に見舞われた地域の歴史の伝承と溪流環境の保全管理に関する活動を20数年継続して取り組んできたことが報われました。今後も子供たちが安心して遊ぶことが出来る溪流環境を守り、美しい自然景観を誇る地域を多くの人々が憩える場所として利用されるよう、防災思想の普及に努めます。

活動の内容

- 砂防校外授業
- 防災フェア&甲斐駒清流ウォーク
- 人工産卵河川のメンテナンス
- 溪流祭り
- 河川環境の整備

活動の経歴

平成11年 甲斐駒清流懇話会設立
平成26年 日本水大賞審査員特別賞を受賞
平成29年 水資源功績者表彰を受賞
令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)を受賞

所在地 山梨県北杜市武川町・白州町

活動主体及び連絡先 甲斐駒清流懇話会

対象となる社会資本 大武川、尾白川、道の駅「はくしゅう」

